

相模原市の各種計測機器メーカー 「VDO」代理店・クリエ電機株式会社

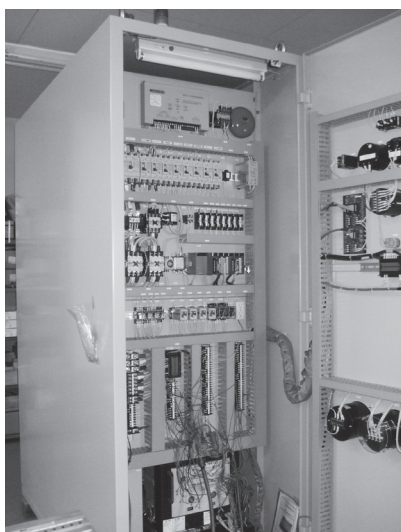
今回は、「クリエ電機株式会社」(神奈川県相模原市精新。西川潤社長)の本社工場を取材した。同社は、発電機用の制御盤・受配電盤、船舶用の計器盤などの設計から製造、完成検査に至るまで一貫して社内で手掛け、単品製品から量産品までを受注生産している。また、2007(平成19)年からはドイツの有名な電気計器メーカー「VDO」の日本総代理店として、建設機械、農業機械、船舶向けに速度計、圧力計、温度計などの各種センサー、計器類を供給している。創業以来、「少量製品の基板化・モジュール化の研究開発」を推進し、「多品種・少量生産品の受注」を実現するなど、独自の生産体制を築き上げてきた。同社の取り組みについて紹介する。

◆創業の経緯について

創業者は現社長の西川潤氏。西川氏は三井造船で電気機装関係の設計に携わっていたが1973(昭和48)年に独立。翌74(昭和49)年1月に「クリエ電機株式会社」を設立して以来、今年で37年目を迎えた。

「社名はCreation(創造)という英単語をもとに名付けたもの。お客様のご要望を必ず実現するという想いを込めた」(西川氏)との事。設立当初は、専門商社を仲介して、主に三井造船向けの船舶用動力装置に搭載される制御盤を中心に設計から製造までを請け負っていた。また、世田谷での創業後1982(同57)年7月に相模原市の現在地へと移転し、今日に至っている。従業員は14名。資本金は2,000万円。

◆事業内容について



自立閉鎖型制御盤



VDO製のコンビネーションメーター

事業内容は主に「発電機用制御盤」「船舶用制御盤及び計器盤」「その他各種電気機器・装置」という3つの事業分野で構成され、売上高は約2億円(平成21年12月実績)。事業分野別の売上高シェアは「船舶用制御盤及び計器盤」が40%、「発電機用制御盤」が30%、「その他各種電気機器・装置」が30%となっている。

◆建機用・発電機用に本格進出

クリエ電機では、これまで、主に三菱重工やキャタピラー社などの原動機・装置メーカーに対して、船舶用の動力装置や発電機に搭載される「各種制御盤」「各種計器盤」のほか、一時期の常用発電ブームの際の発電機制御盤、非常用発電機制御盤並びにエンジンなどの回転体の回転検出を行う「スピードリレー」といった電気機器を供給してきた。

最近では、従来の船舶用、非常用発電機に加え、新たに建設機械や特殊車輛メーカーから「回転計」「圧力計」「温度計」「速度計」などの単品製品や、これらを複数組み合わせ合わせた「コンビネーションメーター」の受注が増えているという。また、クラウドコンピューティングサービスの普及に伴うデータセンター向け、サーバーバックアップ用予備発電機の需要が拡大しており、直近においては6,600V・3,100kVAという、ディーゼルとしては国内最大級の発電装置の制御盤を納入した。

◆VDO製メーターの拡販に注力

具体的な取り組みとして、世界的な企業グループContinental CorporationのVDO部門の製作する電気式アナログ計器の日本国内での販売に付いて業務提携をした。

今後新製品の「Viewlineシリーズ」の計器・センサー類の積極的な売り込みを図っていくと共に、計器盤として完成された商品の販売にも注力していく。

Viewlineシリーズのメーターの特徴は、従来は個別の製品として別々に取り付けられていた「速度計」「回転計」「燃料計」「温度計」などの各種メーターの機能並びに機器状態の表示器を、一つの計器内に集約したコンビネーション形計器が標準品として用意されており、客先の要求仕様に対し柔軟に対応が可能で、新規開発の時間とコストが節約出来ると共に実装の際の省スペース化や省コスト化を実現できる。また電子制御エンジンのECUとの間で通信ネットワークを通して使用する事も可能である。

問い合わせはクリエ電機(株)(TEL:042-773-1510)。